

2020年度第2回 SSI 学会誌編集委員会議事録

日 時：2020年10月17日（土）13:30～15:15

会 場：オンライン会議（ZOOM ミーティング）

【報告事項】

1. 学会誌発行状況について

和文誌および英文誌の発行状況について、以下の通り確認した。

■和文誌『社会情報学』（毎年3回：6月、12月、3月発行予定）

- ・9巻1号（2020年9月発行済）
- ・9巻2号（2020年12月発行予定）
- ・9巻3号（2021年3月発行予定）

■英文誌『Journal of Socio-Informatics』（毎年1回：9月発行予定）

- ・Vol. 13（2020年9月発行済）
- ・Vol. 14（2021年9月発行予定）

2. 査読状況について

和文誌の査読状況について、別紙資料1の通り報告された。

3. 和文誌『社会情報学』編集長について

決定済の和文誌『社会情報学』編集長について、以下の通り確認した。また、未定の10巻副編集長1名について、今後、検討していくこととした。

■和文誌編集長 / 副編集長一覧

- ・9巻（2020年度）：小寺敦之委員 / 嶋崎真仁委員・松下慶太委員
- ・10巻（2021年度）：嶋崎真仁委員 / 未定・松下慶太委員

4. 和文誌『社会情報学』編集担当責任者について

決定済の和文誌『社会情報学』編集担当責任者について、以下の通り確認した。また、未定の10巻2号以降の編集担当責任者について、今後、検討していくこととした。

■和文誌編集担当責任者一覧

- ・9巻2号（2020年12月発行予定）：杉山あかし委員
- ・9巻3号（2021年3月発行予定）：加藤由樹委員

- ・ 10 巻 1 号 (2021 年 6 月発行予定) : 加藤尚吾委員
- ・ 10 巻 2 号 (2021 年 12 月発行予定) : 未定
- ・ 10 巻 3 号 (2022 年 3 月発行予定) : 未定

5. 英文誌『Journal of Socio-Informatics』編集長について

決定済の英文誌『Journal of Socio-Informatics』編集長について、以下の通り確認した。また、未定の 14 巻 1 号副編集長について、今後、検討していくこととした。

■ 英文誌編集長 / 副編集長一覧

- ・ 13 巻 1 号 (2020 年 9 月発行予定) : 土屋祐子委員 / 金山智子委員
- ・ 14 巻 1 号 (2021 年 9 月発行予定) : 金山智子委員 / 未定

【審議事項】

1. 学会誌編集作業の一部外注化について

学会誌編集作業の一部外注化について、「編集作業外注化検討ワーキンググループ」座長の櫻井副委員長より検討結果について別紙資料 4 により報告され、その内容について審議を行った。その結果、株式会社アトラスの「Editorial Manager」を候補として、外注化を進めていくこととした。また、本件について今後、理事会に諮っていくことになった。

2. ディスカッションペーパー等の扱いについて

審査前に「ディスカッションペーパー」や「ワーキングペーパー」等の形で公開済の論文の投稿について、原案をもとに審議を行った。その結果、プレプリント・サーバで公開済の論文の扱いに準じて、本学会では以下のような方針を取ることにした。

- (1) 審査前に「ディスカッションペーパー」や「ワーキングペーパー」等の形で公開済の論文については、本学会誌への投稿を受け付けることとする。
- (2) 投稿者は、論文投稿の際に公開済の「ディスカッションペーパー」や「ワーキングペーパー」について事前に学会誌編集委員会に通知しなければならない。学会誌編集委員会において、通知されたペーパーが「ディスカッションペーパー」や「ワーキングペーパー」として位置づけることが適当かどうかを審議し、適当だと認められた場合のみ論文の投稿を受け付ける。
- (3) 投稿論文が学会誌へ掲載される場合には、論文中に「ディスカッションペーパー」や「ワーキングペーパー」等との関係を明記する。
- (4) 投稿論文が学会誌に掲載が決まり、なおかつ関連する「ディスカッションペーパー」や「ワーキングペーパー」等のオンラインでの公開を継続する場合は、当該ペーパーについて、1)審査により学会誌への掲載が決まったこと、2)学会誌に掲載された正式バージョンの書誌情報とリンク、を付記することが望ましい。

- (5) 「ディスカッションペーパー」や「ワーキングペーパー」等で公開済の論文を再投稿する際には、再投稿時にその旨を学会誌編集委員会に通知しなければならない。

3. 『社会情報学』投稿要綱の改訂について

審議事項2を受けて、『社会情報学』投稿要綱を以下のように改訂することとした。

旧	新
<p>(投稿原稿)</p> <p>第3 投稿原稿については、以下の通りとする。</p> <p>(中略)</p> <p>(6) すでに、他学会の雑誌論文等に投稿したもの、単行図書・単行図書所収論文・博士論文またはその一部をそのまま投稿してはならない。本学会が主催、共催する学会大会、シンポジウム、講演会、研究会、分科会等で公表した原稿を投稿する場合、それらの場で発表済であることを明記することが望ましい。</p> <p>本学会に投稿した投稿原稿は、不採択の場合を除き、他学会等へ投稿してはならない。</p>	<p>(投稿原稿)</p> <p>第3 投稿原稿については、以下の通りとする。</p> <p>(中略)</p> <p>(6) すでに、他学会の雑誌論文等に投稿したもの、単行図書・単行図書所収論文・博士論文またはその一部をそのまま投稿してはならない。<u>ただし、ディスカッションペーパー、ワーキングペーパーとして公表済の論文およびプレ・プリントサーバ上で公表済の論文であって、学会誌編集委員会が認めたものについては投稿を受け付ける。</u></p> <p>本学会が主催、共催する学会大会、シンポジウム、講演会、研究会、分科会等で公表した原稿を投稿する場合、それらの場で発表済であることを明記することが望ましい。</p> <p>本学会に投稿した投稿原稿は、不採択の場合を除き、他学会等へ投稿してはならない。</p>
	<p><u>付 則</u></p> <p><u>この要綱（改正）は、2020年10月17日より施行する。</u></p>

4. 優秀論文賞および論文奨励賞の選考についての表彰委員会からの委託について

2020年度第2回理事会において、表彰委員会より、学会表彰のうちの優秀論文賞および論文奨励賞の選考方法について問題提起があり、両賞の選考を本委員会に委託することが提案された。この点について審議を行い、学会誌編集委員会において優秀論文賞および論文奨励賞の選考を実施していくことが承認された。

なお、選考の具体的な方法や手順については、今後の本委員会で検討していくこととした。

5. 審査後の論文修正稿の分量について

審査結果が「B. 修正意見付き仮採択」または「C. 再査読」となり、査読者からの修正指示に対応して修正・再提出された論文修正稿の分量が規程を超えていた場合の扱いについて審議を行った。その結果、1)修正稿についても規程の分量を厳守することとする、2)修正稿においても規程の分量は厳守しなければならない点について、投稿前および原稿修正依頼時に明確となるように各種の規定や書式を修正する、3)本議案のきっかけとなった投稿については十分な修正期間を設けて再度の修正を依頼する、ということとなった。

【別紙資料一覧】

- 別紙資料 1 査読状況一覧
- 別紙資料 2 勝見印刷見積書「論文査読代行」
- 別紙資料 3 勝見印刷見積書「論文査読代行」
- 別紙資料 4 EditorialManager のご提案
- 別紙資料 5 次回理事会において表彰委員会が提起する審議事項
- 別紙資料 6 表彰規則 2020 改定案
- 別紙資料 7 表彰規則 別表第 1 2020 改定案